

学びびで

特集 ①



生涯学習とは

生涯学習とは、「生活や職業能力向上、自己実現のため、自発的に、必要に応じ、自分に適した方法・手段で生涯を通じて学ぶこと」です。
大切なのは、学びたい人が、学びたい時に、学びたい内容を、学びたい場所です。一人の人間として生まれてから亡くなるまでの「学び」は、すべて生涯学習なのです。

生涯を豊かに

皆さんは、「生涯学習」という言葉から何を連想しますか。陶芸や俳句、ゲートボールなど、趣味や教養に関するものでしょうか。しかし、それだけが生涯学習ではありません。今回は、生涯学習について考えてみましょう。

暮らしの中に 学びあり

生涯学習には大きく分けると3つの柱があります。①趣味や教養、生きがい。②環境や健康、まちづくりなど現代社会が抱える課題の解決。③より高い資格・能力・技術の習得。
これらはすべて私たちの暮らしに根ざしています。暮らしの中にこそ学びの種があるのです。



皆さんの「学び」を支えるために

県では、皆さんが人生をより豊かに過ごすことができるよう、その興味や必要に応じ、いつでも学ぶことができる生涯学習社会の実現を目指しています。
そのため、皆さんの自己実現を支えるとともに、学んだ成果が生かされ、地域社会の発展につながることを目標とした県独自の生涯学習機会の提供を行っています。
次に、生涯学習の機会を提供する仕組みやいきいきと生涯学習を楽しむ人々を紹介いたします。





県や市町村、大学、NPOなどの市民団体、民間の教育機関が連携・協力してつくる県内全域を結ぶ生涯学習を提供する仕組み。

趣味・教養などの身近な講座から専門性の高い講座まで幅広い学びの要望に応えます。

- ◆ **まなびとオリオン講座**★ 県内7つの生活圏の地域に密着したテーマについて、各地域の教育事務所で開催する講座。
- ◆ **e-夢・まなびと** 70以上の講座をいつでもどこでも誰でも学べるインターネット配信講座。
- ◆ **まなびとファインダー** 県内の生涯学習情報をインターネットで検索できるサイト。



- **学習情報交流誌「夢まなびと」** 県内各地で開催される講座などをまとめたもの。ヨークベニマルや公民館などで配布しています。

詳しくは、[HP 夢まなびとへ](http://www.yumemanabito.fks.ed.jp/) <http://www.yumemanabito.fks.ed.jp/>

生涯学習を楽しむ人たち

伊藤弘美さんたちが9人が「押し花講座」の講師を務めました。伊藤さんは、趣味が高じて3年前に押し花インストラクターの資格を取得。思いがけず資

常磐下船尾婦人会は、ボランティアなどに積極的に取り組む元気な婦人会。会長の矢沢絢子さんの企画力・行動力に会員の信頼も厚く、みんなで学びの場にも多数参加。**まなびとオリオン講座**★も毎年受講しています。その学習意欲の高さを買われ、今年7月、婦人会として講座を受け持つことに。

いわき市

常磐下船尾婦人会

教えたことが、
さらなる学ぶ意欲に



押し花講座の講師を務めた伊藤弘美さん

格が役立ちました。不安もあったそうですが、受講生の真剣な姿に「生涯これほど感激したことはなく、また教えることで自分にならない考えも学べ、新しい発見もあった」と語ります。
ますます会員の学習意欲は高まるばかり。また講師に挑戦したいし、今後もしさまざまな学びの場に参加するつもりです。生涯学習とは何かと問うと、「生きる活力」「頭の栄養」「親睦の場」「ほけ防止」と口々に意見が飛び出します。会員の明るいきいきとした顔がすべてを物語っています。



常磐下船尾婦人会会長 矢沢 絢子さん



子どもたちの指導にも当たる佐藤とも子さん



部活や勉強と両立する徳江信幸さん



伊達市

世代を超えて、生涯スポーツ
県スポーツチャンバラ協会

伊達体育館内に「やー!」「とー!」と威勢のよい掛け声が響きわたります。通称スポチャンこと、スポーツチャンバラは、ウレタン製とエア製の小太刀を使う護身格闘技。7度の全国大会優勝経験を持つ堀田満さんは、県協会を立ち上げ、その普及に尽力しています。「武道を通じて礼儀や人間関係を学び、心身のバランスも保てるようになる」と語ります。そんな堀田さんを慕い、老若男女が道場に集まります。世界大会出場経験もある高校3年生の徳江信幸さんは、文芸部で小説や詩を書く傍ら「楽しんでやれるのがいい」と週に1度スポチャンで汗を流

健康づくりのために始めた佐藤とも子さんは、現在師範代の腕前。スポチャンは「年齢に関係なく続けられ、身についた「瞬発力」「機敏さ」が普段の生活や仕事にも生きているそう。一つのことを長く続けることで得る学びがありました。ちびっこから大人まで、スポチャンを楽しみながらさまざまなことを学んでいます。



県スポーツチャンバラ協会会長
ほったみつる
堀田 満さん



～全国の学びがふくしまに集結!～

まなびピアふくしま
☆☆☆ 2008

第20回 全国生涯学習フェスティバル

★日 時 10月11日(土)～15日(水) 午前10時～午後5時 (15日は午後3時まで)

★主会場 ビッグパレットふくしま (郡山市安積町)

★主な催事

◆学びのテーマパーク生涯学習見本市

- 深海の世界を、有人潜水調査船「しんかい6500」の調査の様子と深海生物や深海の水圧を再現した実験などで紹介する「海と地球の研究所「JAMSTEC」
- デジタルプラネタリウムで宇宙旅行にでかけよう!
- 環境水族館「アクアマリンふくしま」移動水族館 など

◆生涯学習体験広場 さまざまな学びを体験!

◆青春ライブステージ 世代を超えて音楽で交流!

◆ふるさとの特色を生かした多彩な学びのイベントも各地で開催! 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、喜多市、南相馬市、南会津町、棚倉町



HP まなびピアふくしま2008

検索

<http://www.manabipia2008.gr.fks.ed.jp/>

「学び」で人生に潤いを

私にとって合唱は、人生を豊かにしてくれるかけがえのないものであり、生涯を通じた「学び」の場ともなっています。



福島県知事 佐藤 雄平

生涯を通じた学習は、暮らしに潤いを与え、各人の教養、技術などを高めてくれるだけではなく、環境問題や少子高齢化などの解決、産業振興、交流人口の拡大など、地域活性化の原動力ともなります。

生涯学習フェスティバルは、県民の皆さんが「学び」を発見する絶好の機会です。フェスティバルをきっかけに学ぶことの大切さをあらためて考えていただきたいと思います。



一人一人が主役

「生涯学習」は、学びたいという気持ちから始まるもの。皆さん一人一人が主役です。普段何気なくしている読書。これも生涯学習の一つです。まずは小さなことでもいいから始めてみませんか。それが豊かな人生を送るきっかけになるかもしれません。

問 県庁生涯学習課 ☎024(521)7994



データでわかる 福島のお米

福島県は、全国第4位の生産量を誇る米どころです。県産米は、県内で消費されるほか、関東地方をはじめ北海道から沖縄県まで全国に出荷されており、香港など海外にも輸出されています。

県産米は「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」で生産量の87%を占め、そのおいしさで毎年高い評価を得ています。さらに、有機栽培など環境にやさしい米づくりも県内各地に広がってきています。

国民一人が一年間で食べるお米の量は、昭和30年代の約半分まで減っていますが、最近は「ごはん」を中心とした日本型食生活が見直されています。安全・安心でおいしいふくしまのお米をたくさん食べましょう。
(出典：農林水産省「平成19年度産水陸稲の収穫量」「平成19年度産水稲の品種別収穫量」)

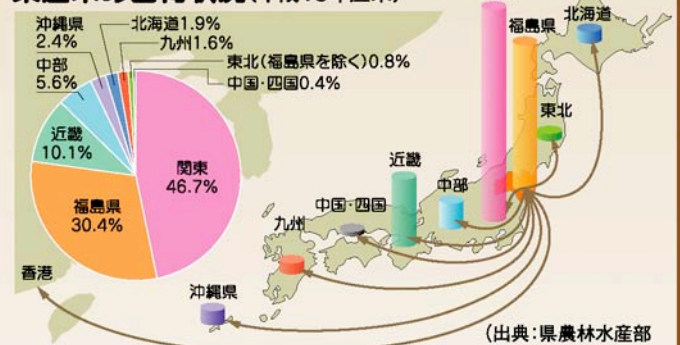
県産米の食味ランキング(平成19年度産米)

品 種	地 区	ランク
コシヒカリ	会 津	特 A
	中通り	特 A
	浜通り	A'
ひとめぼれ	会 津	A
	中通り	A



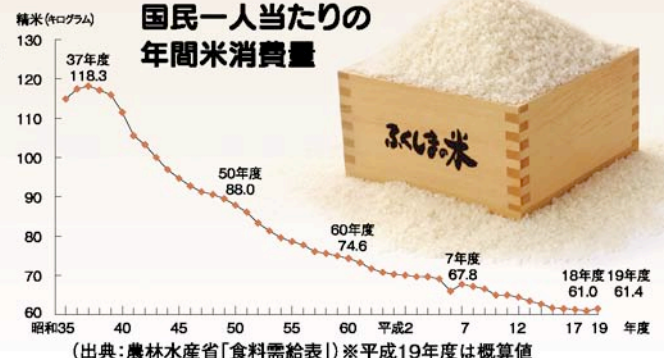
(出典：日本穀物検定協会) ※全国の米を5段階(特A、A、A'、B、B')評価

県産米の出荷状況(平成18年度産米)



(出典：県農林水産部「ふくしまの農林水産業」)

国民一人当たりの年間米消費量



(出典：農林水産省「食料需給表」) ※平成19年度は概算値